

令和5年度階層別選択研修（共同）「事業スクラップ研修～ビルドのためのスクラップ～」実施要領

- 1 目的 既存の事業を縮減する視点や新規事業立ち上げの際の注意点を学び、改革の姿勢をもって「選択と集中」を実行する力を養う。
- 2 対象 【県】 令和5年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員（受講を希望する課長級職員を含む）
【市町村】 課長補佐級以上の職員
- 3 定員 県25人・市町村25人
- 4 日程 7月14日（金） 9：00～16：30

9:00	9:05	12:00	13:00	16:25	16:30
オリエンテーション	講義・演習	休憩	講義・演習	講義の振り返り等	

- 5 手法 Zoomによるオンライン受講
※Zoomの利用環境を用意できない場合、以下の担当まで御連絡ください。
- 6 講師 一般社団法人 日本経営協会 ^{ひぐち みちお}樋口 満雄 氏
- 7 会場 各所属ほか
- 8 準備品 筆記用具、インターネットに接続できるパソコン等の端末（カメラ・マイク付）、テキスト等研修資料、「研修当日の参加方法について」
- 9 受講報告 下記URL（Logoフォーム）から受講報告を提出してください。
受講報告は研修終了後から3日以内に行ってください。
【URL】（インターネット）<https://logoform.jp/form/vqMu/284616>
（LGWAN:市町村職員のみ）<https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/vqMu/284616>

10 その他

- (1) 実施要領、シラバス（研修科目案内）を必ず御確認の上、御参加ください。
- (2) 業務等の都合によりやむを得ず欠席（遅刻・早退）する場合は、欠席（遅刻・早退）届を以下のとおり提出してください。また、欠席（遅刻・早退）することが当日判明した場合は、速やかに当広域連合に連絡してください。
【提出方法】（県職員）電子申請フォーム（<https://logoform.jp/form/vqMu/187195>）で御提出ください。
（市町村職員）研修担当課へ欠席（遅刻・早退）を申し出てください。
- (3) Zoomの機能を用いたグループワークを予定しています。マイク・カメラの御用意及び研修中に発言可能な受講環境の確保に御協力をお願いします。
（県職員のみ）SRDシステム（リモートデスクトップ）では研修に参加できません。在宅勤務の場合は、自宅等の回線から接続する等して、県庁LANの負担軽減に御協力ください。
（市町村職員のみ）他団体の受講生との意見交換の機会を確保するため、可能な限り、1人1台のパソコンを用意してください。
- (4) Zoomの接続については、「研修当日の参加方法について」を確認してください。
- (5) 研修開始5分前にはZoomに接続し待機してください。
- (6) 本講義については、録画、撮影（スクリーンショット含む）及び引用、転載等による第三者への共有はしないでください。

担当：人材開発グループ 県職員担当	杉崎【E-mail】 sugisaki@hitozukuri.or.jp
市町村職員担当	渡辺【E-mail】 a.watanabe@hitozukuri.or.jp
【電話】048-664-6681（県職員担当）	048-664-6684（市町村職員担当）

階層別選択研修（共同）

研修名	主幹・副課長・課長補佐級		受講者の声	
	事業スクラップ研修 ～ビルドのためのスクラップ～			受講してよかったと感じている。新規事業と事業スクラップは両方を同時に考えていくべきもので、管理的な立場にある多くの人に受講して欲しいと思った。
講師	一般社団法人 日本経営協会 樋口 満雄 <small>ひぐち みちお</small>	実施日数・時間	1日間	
		手法	オンライン研修	
		会場	各所属ほか	
		市町村研修コード	258	
ねらい	既存の事業を縮減する視点や新規事業立ち上げの際の注意点を学び、改革の姿勢をもって「選択と集中」を実行する力を養います。			
対象者	【県】令和5年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員（受講を希望する課長級職員を含む） 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	7/14(金)			
予定人員	県25人・市町村25人			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	事業スクラップ等の必要性 人口問題と財政問題 課題の発見 事業のスクラップ等の適正な視点・配慮すべきポイント 行政改革の現在までの取組 事例紹介…講師の実践から 時代の変化とサービス見直しの実践 スクラップ事業の検討 まとめと質疑応答	6	30	<ul style="list-style-type: none"> スクラップを実行しなければならない理由 人口構造とその課題 財政問題とその他の課題も噴出 原点に戻る発想が必要 グループワーク 必要な視点 意思決定のための判断基準 配慮すべきポイント 行政改革と地方分権改革 究極の行政改革とは 行政改革の限界 平成の大合併と地方行政の構造 スクラップ事例、再構築事例、失敗や実現できなかった事例 民間事業での政策課題への取組 過去に学び時代の変化をみる 行政サービスの分類と変化 具体的行動の実践 グループワーク 全体のまとめと質疑応答
特記事項				